

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 3年 12月 6日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490101080		
法人名	フライングスタート合同会社		
事業所名	グループホームひだまり		
所在地	広島市安佐北区落合南4丁目41-21 (電話) 082-845-3070		
自己評価作成日	令和3年11月11日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490101080-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;JigyosyoCd=3490101080-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和3年12月3日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

その人らしい生き方を考え、笑顔が多く見られるように興味のある事を提供します。体力低下を防止するために日常生活を通しての生活リハビリやその方に合った運動レクや散歩をして頂いています。また看取り介護も行っており最後まで自分らしく過ごして頂けるように安全、安楽に支援致してます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

最近の特徴的な取り組みとして、職員からの提案で、コロナ禍で外出が難しい状況を受けて、事業所内で初詣が出来るように利用者と職員が共同で鳥居、神社の手作りを作成している。行事レクの充実を図り、運動会や秋祭りなど行っている。歩行や体操を日々取り入れ、利用者の身体機能が低下しないように介護予防の取り組みをしている。医療面に関して、医療機関の訪問診療、緊急時対応、看取り対応など、連携体制が構築されている。それらの特性を活かした医療連携が事業所の強みである。家族との面会規制がある中でも和やかに過ごす利用者の様子を手紙や電話で伝えるなど、更なるケアの質の向上に向け職員全員でスキルアップに努め、その人らしさのある穏やかな暮らしを守る事業所づくりを継続している。

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践  地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域とのつながりを大切にしながら、人生の先輩として敬意、尊敬をもち、かつ日々よりよいサービス、個人個人その人らしく生活できる事を念頭におき、理念としています。ミーティングで理念の研修を行っています。	『利用者の方が安全に笑顔で過ごして頂けるように』を行動指針としている。理念を玄関に掲示し、職員は仕事始めの前に意識を高めている。年1回の職員研修や毎月のミーティングで、定期的に振り返りを行い、職員のモチベーション維持に繋げ日々の実践に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい  利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ前は町内会行事(とんど・秋祭り等)への参加を積極的に取り入れている。GH行事の餅つきを見える玄関で行い地域の方に声掛け参加される。散歩等で地域の人にあった場合挨拶を必ず行うようにし、交流できるように努めています。	日頃からの挨拶で近所の人達と自然な形で関わっている。町内会には加入していないが、地域の行事毎があれば案内がある。以前は、地域交流を深める目的で、事業所玄関前で行う、餅つきには、地域住民の参加があった。地域の秋祭り、とんど祭り、子ども神輿の見学などに参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献  事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事に参加することで、地域の方とご利用様との関わりを大切にしています。地域の方が訪問しやすい環境を作り、認知症のご利用者様を知って頂けるよう努力しています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み  運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事故やヒヤリハットの報告も行き、意見を頂きサービス向上に活かしています。地域のイベントを教えて頂き外出レクに取り入れています。	現状下では当会議を書面にて行き、敬老会長、民生委員、地域包括支援センター職員他の少人数ではあるが、運営状況、事故報告、ヒヤリハットなどの報告をしている。家族不参加者への対応として、議事録を送付している。議事録は写真を載せて相手にも伝わりやすい工夫をしている。	
5	4	○市町との連携  市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	隔月開催の運営推進会議には、地域包括支援センター職員に開催・出席を呼びかけ、ご都合に応じて参加を得ています。毎回、会議記録を安佐北区介護保険課にFAX送信し、協議内容を報告しています。	生活課または市の担当窓口疑問点を問い合わせたりしている。普段から地域包括支援センター職員と連絡を密に取り、報告や情報交換などで連携し、協力関係を構築している。地域包括支援センター職員から入居相談を受けることが多い。	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員は、毎月開催のフロアーミーティングで具体例を挙げて身体拘束とみられかねない行為などについて指摘、指導や確認など行っています。3点ベッド柵や拘束バンドは使用していません。</p>	<p>毎月のフロアーミーティングで具体例を挙げて適正化についての検討を重ねている。年6回の身体拘束廃止委員会を開催し、振り返りを行い職員全員が周知し、利用者に寄り添うことにより、スピーチロックを含めた身体拘束の無いケアを日々実践している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>フロアーミーティングで研修を行い、全職員が共有できるようにしています。また、入浴介助などの身体が見える時にご入所者の身体に不審な傷・痣等ができていないか必ず確認をして報告しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者がご利用者様の状態把握をすることで家族と制度利用について話ができる状態です。必要時に後見人制度等について管理者が説明できるようにしています。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、細かい仕組み、体制、費用などについて、書類を読み上げて説明しています。特に健康管理や重篤時の対応などは丁寧に説明し、ご理解・ご納得をいただけるよう心がけています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常的にご入所様と接する中で細かい要望なども積極的に聞き出して、出来るところから応えるように心がけています。またご家族のご来所時には、我々への要望・思いや苦情等は、積極的に管理者にて機会を設けてお聞きするようにしています。</p>	<p>家族などの面会規制がある中で、電話や手紙で日々の様子を知らせている。月1回の担当職員のメッセージや、事業所内行事の写真を『ひだまり通信』に載せて、利用者が和やかに過ごす姿を伝えている。要望については、連絡ノートで共有し、迅速に対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日頃から、意見を出しやすい雰囲気作りに心がけて月一回のミーティングで、職員の意見を聞く機会を設けています。	毎月のミーティングで意見交換し業務改善を重ねている。意見や提案した事柄を事業所で取り組み、見直しがあれば改善している。例えば、休日を1日でも増やす目的で、1日8時間労働を10時間労働に切り替えて、職員の仕事に対するモチベーションの向上に繋がっているケースもある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	キャリアパスを導入しており、管理者及び職員の目標や実績、勤務状況を把握して職場環境や条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	機会をみて外部研修に参加したり、資料の回覧をしたり、社内のミーティング時に研修会を実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	研修会等に参加し、同業者との交流を図っています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に担当ケアマネジャーから情報を頂き、管理者・ケアマネ・職員で打ち合わせを行っています。ご本人やご家族に今までの暮らしぶりや習慣など伺いながら不安、要望等を傾聴し安心して頂けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前にはご家族と面談を行って話を伺うようにしています。ご要望に対して柔軟に対応できるよう心掛けるとともに、出来ること出来ないことについても説明し、不安がないように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者としっかり関わりを持ち、言葉や態度、表情などから不満や不安を読み取るよう努力しています。またご家族が何でも話していただけるような関係作り、雰囲気作りに努め、行事等に参加していただいた時には感想やご意見を伺うようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で、後片付け、掃除、洗濯干し・たたみ等、利用者様が出来る事は積極的に声掛けをし、職員と一緒にいき家庭的な雰囲気作りに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には本人の日々の状況などをお伝えしながら、情報交換を密にして、一緒に本人を支えていく人間関係を築く努力をしています。面会に来られない方には電話でお伝えしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	家族の協力を得て、外食・墓参り・毎週自宅に帰り泊まる等、一人ひとりの馴染みの人や場所との関係が途切れないように支援をしています。	面会や週末には家に帰るなど実施していたが、外出自粛で難しいため、感染状況を踏まえて、ガラス越し面会又は短時間での対面面会と出来る範囲内で以前からの馴染みの人や場との関係継続に努めている。少しでも懐かしめる話題を盛り込むなど、職員と共に憩いの時間を設けている。	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	ご入居者様同士の関係を勘案し、食事の席やレクリエーションの席等を配置しています。利用者同士がトラブルになりそうな時は、職員が中に入ったりと臨機応変に対応しています。一人でおられる時は職員が積極的に話しかけています。		
22		○関係を断ち切らない取組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	契約終了後も、必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるよう努力しています。		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人の嗜好に合わせ、ノンアルコールビールの提供など、できるだけ本人の希望や意向に沿った対応を行っています。こちらのペースでなく本人様のペースに合わせるよう努めています。	日常生活の中での会話や仕草・表情などから想いを受け止めている。本人が何が好きなのか、やりたいことを把握している。希望があれば、イベント時にノンアルコールビールを提供している。意思疎通が難しい方は、日々の関りや、家族からの聴き取りにより、本人本位の意向に添えるよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握  一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	家族・友人などの面会時、少しずつ昔のお話を聞き把握する様に努めています。日常の会話の中で回想する事により、個々の生活歴などの情報を把握できるよう努めています。		
25		○暮らしの現状の把握  一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	利用者の変化や新しい気付きなどを記録に残し、毎日朝夕の申し送りの中で伝え合い、フロアーノートも活用して日々情報収集を行って職員全員が共有できるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者毎に担当者を決め、3ヶ月に一度モニタリングを行っています。ケアカンファレンスは更新時・利用者の状況変化時に行い、その際には、管理者・介護支援専門員・家族・職員が話し合い、要望を取り入れてケアプランの見直しを行っています。</p>	<p>担当職員がアセスメントを行い、利用者・家族の意向を踏まえ、介護計画を作成している。事業所独自の書式を活用し、モニタリング表には、まとめ(要約)があり、第三者が見て分かりやすい書式である。多職種の意見やアイデアが反映された個別性を重視した計画を作成している。</p>	
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人日誌、業務日誌、申送りノートに記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>買い物や外食、お花見などの外出支援を行っています。訪問理美容や利用者によって訪問マッサージを受けておられています。ご本人の希望で新聞を取っている利用者もおられます。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議で、町内会長や民生委員の方や地域包括支援センターの方から地域の行事などのお話しをお聞きし参加出来る時はしています。また地域の中学校から、職場体験としての受け入れ等も行っています。</p>		
30	11	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時、協力医の説明を行うと同時に本人様のなじみのかかりつけ医を設定されることも自由なことも説明しています。協力医の訪問診療は月2回、必要時や緊急時は常に連絡が取れる体制が出来ています。又、定期的な訪問歯科の往診以外に希望される方はかかりつけの歯科を受診されています。</p>	<p>利用開始時にかかりつけ医の希望を聴いているが、殆どの利用者が事業所の法人の協力医である。協力医の訪問診療や、常勤の看護師配置により、医療連携をはじめ定期的な訪問歯科による口腔ケアなど適切に医療が受けられるシステムを構築している。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b>  介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設内の看護師と連携を密にし状態の変化などを報告し医療に繋げています。また、訪問看護ステーションと契約をし、定期的に数名の看護師に来て頂き迅速な対応をしています。夜間帯や休日なども、24時間連絡体制がとれるようになっていきます。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b>  利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医と入院機関との連携にも努め、すぐに情報提供を行うよう努めております。定期的に管理者・看護師・介護支援専門員が面会に行き、看護師・相談員に状態をお聞きし早期の退院ができるような対応をしています。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b>  重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご利用される時点で、重度化への指針や緊急時の体制などについて、入念にお話させていただいています。ご利用後、状態が悪くなっていく場合は、かかりつけ医師・看護師・管理者と共に、ご家族と今後の重篤時の対処などについて話し合いを行い、承諾書等も頂いています。	契約時、重度化、終末期に向けて指針を説明し、意向の確認をしている。重度化した場合、その都度家族や医療関係者と方向性をよく話し合い、職員全員で心のこもった穏やかな終末期ケアに努めている。事例として、看取り支援をする中で、状態が安定したケースが2件ある。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b>  利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時などは、マニュアルに沿って連絡網で、即時に情報が流れるよう体制をとっています。毎月の職員会議では、これまで発生した事故・ヒヤリをもとに振り返り、改善などについて意見交換をしています。		
35	13	<b>○災害対策</b>  火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得て年2回、火災避難訓練・消火訓練を実施しています。	火災が起きた時は、迅速に消火できるように、年2回夜間想定を含め避難訓練が行われている。日頃からの予防で定期的にコンセント周囲の掃除をしている。運営推進会議での話し合いで、敬老会長に災害時には、避難場所先での見守りを依頼したり、備蓄品(水、食糧など)3日分準備している。	



自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人にあった対応をするため、ミーティングにて、職員間で情報を共有し、誇りやプライバシーを損ねないよう意識の向上に努めています。入浴、排泄等、羞恥心に配慮をして行い、記録物などの取り扱いにも注意しています。	利用者に対する言葉かけも不適切な対応にならないように『～さん』付けとされている。日頃から気になる事柄があれば、注意喚起している。利用者はお客様、人生の先輩として敬意を払ったコミュニケーションを図っている。記録物についても第三者が見ても違和感が無いように記録整備している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の要望や思いなどに素直に耳を傾け、また、自己決定できるような問いかけをしています。その中で出来る事は対応し、出来ない事については丁寧に説明しています。場合によっては、管理者を交えて話し合い、納得を得られるよう心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者のその日の体調等を考慮し、その方の思いや要望をお聞きして、最適な過ごし方が出来るように心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝、ご本人の好みの洋服に着替えていただきます。化粧品もご本人、ご家族の希望があれば使っていただいています。定期的に理美容サービスに来ていただき、ご本人の希望に合わせてカット・カラー・パーマをお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普段の食事作りへの参加はありませんが、時々、ホットプレートを使用の際は一緒に作っていただいて、食器等の後片付けは無理の無い程度に一緒に手伝って頂いています。温かい物は温かい内に、常に美味しく召し上がっていただけるよう提供しています。	栄養士による栄養バランスの整った食事提供に努め、旬の野菜や彩りにも配慮し、食欲をそそる工夫をしている。毎日の手作りおやつと、誕生会にはデコレーションした手作りケーキや好きな物を味わい共に祝う楽しみもある。	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の水分摂取量は、1000～1300ccを目標としています。水分量、食事を記録し一人ひとりの咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態にて対応させて頂いています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食後行い、義歯使用者は週2回夕食後に洗浄剤にて消毒をしています。また月2回歯科往診の先生に来て頂き、治療についての相談や口腔内のケアをしていただいています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表にて、一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけにてトイレに誘導をしています。また動作・表情などを察知して、トイレ誘導をし、気持ちよく排泄していただくよう取り組んでいます。</p>	<p>排泄パターンを把握し、トイレでの排泄に向けて声掛け、誘導をしている。筋力の低下を防ぐため廊下の歩行や体操を行い、こまめな水分補給で気持ち良く排泄できるよう支援している。個々に合わせた適切なパッド対応にも努め、その都度検証し、リハビリパンツから布パンツへ移行した方もいる。</p>	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日朝にカフェオレやヨーグルトを摂取してもらい、適度な運動や散歩でなるべく自然排便ができるように取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者様の身体状況に応じ個浴、リフト浴を使用しています。又、必要に応じて清拭、シャワー浴等、工夫しながら清潔保持に努めています。入浴を楽しんでいただくため、入浴剤を使用しています。</p>	<p>ユニット毎で午前又は午後と時間を柔軟に変更し、週2回の入浴としている。本人の身体機能に応じて個浴とリフト浴を選定している。適宜、足浴を実施し、必要時には保湿剤を活用し、皮膚トラブルの軽減に取り組んでいる。体調に合わせてシャワー浴や清拭で清潔を保っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>体調や習慣に合わせてご本人の ペースで昼寝の時間をとり、休 息して頂いています。夜間の安 眠につながるよう日中は、レ ク、適度な運動や散歩などを 心掛けています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりを使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬局と連携を取りながら、薬の 飲み合わせや副作用について説 明を受け支援を行っています。 誤薬防止のためWチェック、 内服時に名前、何日、何食の 声出し確認も行っています。薬 変更後は状態が改善されたか 副作用が無いかなどを確認し 報告しています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換等 の支援をしている。</p>	<p>個々で役割をもって頂き、ご 利用者様同士一緒に助け合いな がら過ごせるようにしています。 お酒も相談にのって対応して おり、個別の楽しみが継続で きるようにしています。花や野 菜を育てるので好きな方は玄 関や中庭で植えられます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援して いる。</p>	<p>日常的な散歩に加え、花見や 紅葉狩りに出かけたりドライブ しながら昼食やデザートを食べ に行くなど、普段行けないよう なところへも希望に沿いなが ら出来る限りの外出支援を行 っています。</p>	<p>以前は、地域にある公園、回 転すしなど季節毎の外出をして いる。散歩に加え、回路式の 建物構造で中庭にはハナミズ キや段差のないウッドデッキ があり、室内にいながら季節 を感じる事が出来る。中庭で の焼き芋は、懐かしさを感じる など楽しみに繋がる支援をして いる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>本人様が金銭を保管することは トラブルにつながるのでは、ご 家族様にその旨をお伝えし持 って帰っていただいています。</p>		

自己評価	外部評価	項目( さくら )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援  家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご自分より手紙を出されたりされることはないが、届いた手紙はご本人に手渡しています。電話がかかって来た時はご本人に代わりお話しして頂いています。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり  共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	中庭に季節の木や花を植えている。居室や共用部分は常に清潔にし、温度湿度管理を行い気持ちよく過ごして頂けるよう配慮しています。	アイランドキッチンにより、リビングが見渡せる空間である。季節の飾り付けがされ、温度、湿度、換気など配慮している。机の高さなど利用者の体型にあった物が準備され、居心地良く過ごせるよう工夫をしている。本棚が設けられたリビングには、動物や皇室の本など自由に読むことができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり  共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	廊下にソファを置き中庭の花や木を眺めながら自由に座って頂ける様にしています。天気の良い時は中庭のベンチで日向ぼっこをされ、くつろいでおられます。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮  居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	入居時、好みの物や自宅で使用されていた馴染みの物を持って来て頂くようにし、居室が落ち着く場所になるよう配慮しています。	基本的には畳部屋であり、1室のみフローリングである。出入口のドアには木製の表札が設置している。今までの馴染みの物を自由に持ち込む事が出来る。カープファンの方は、カレンダーなどカープグッズを飾っている。以前からの生活に近づけた雰囲気落ちて過ごせるように配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり  建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	自立した生活が送れるよう、廊下やトイレに手すりが設置してあり、安全面に配慮しています。居室やトイレが分かるように、ネームプレートを使用しています。		

V アウトカム項目(さくら) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域とのつながりを大切にしながら、人生の先輩として敬意、尊敬をもち、かつ日々よりよいサービス、個人個人その人らしく生活できる事を念頭におき、理念としています。ミーティングで理念の研修を行っています。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ前は町内会行事(とんど・秋祭り等)への参加を積極的に取り入れている。GH行事の餅つきを見える玄関で行い地域の方に声掛け参加される。散歩等で地域の人にあつた場合挨拶を必ず行うようにし、交流できるように努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域行事に参加することで、地域の方とご利用様との関わりを大切にしている。地域の方が訪問しやすい環境を作り、認知症のご利用者様を知って頂けるよう努力している。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	事故やヒヤリハットの報告も行き、意見を頂きサービス向上に活かしています。地域のイベントを教えて頂き外レクに取り入れてます。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	隔月開催の運営推進会議には、地域包括支援センター職員に開催・出席を呼びかけ、ご都合に応じて参加を得ています。毎回、会議記録を安佐北区介護保険課にFAX送信し、協議内容を報告しています。		

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>職員は、毎月開催のフロアーミーティングで具体例を挙げて身体拘束とみられかねない行為などについて指摘、指導や確認など行っています。3点ベッド柵や拘束バンドは使用していません。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>フロアーミーティングで研修を行い、全職員が共有できるようにしています。また、入浴介助などの身体が見える時にご入所者の身体に不審な傷・痣等ができていないか必ず確認をして報告しています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している。</p>	<p>管理者がご利用者様の状態把握をすることで家族と制度利用について話ができる状態である。必要時に後見人制度等について管理者が説明できるようにしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時には、細かい仕組み、体制、費用などについて、書類を読み上げて説明しています。特に健康管理や重篤時の対応などは丁寧に説明し、ご理解・ご納得をいただけるよう心がけています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日常的にご入所様と接する中で細かい要望なども積極的に聞き出して、出来るところから応えるように心がけています。またご家族のご来所時には、我々への要望・思いや苦情等は、積極的に管理者にて機会を設けてお聞きするようにしています。</p>		



自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	日頃から、意見を出しやすい雰囲気作りに心がけて月一回のミーティングで、職員の意見を聞く機会を設けています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	キャリアパスを導入しており、管理者及び職員の目標や実績、勤務状況を把握して職場環境や条件の整備に努めています。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	機会をみて外部研修に参加したり、資料の回覧をしたり、社内のミーティング時に研修会を実施しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	研修会等に参加し、同業者との交流を図っています。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	入居前に担当ケアマネジャーから情報を頂き、管理者・ケアマネ・職員で打ち合わせを行っています。ご本人やご家族にこれまでの暮らしぶりや習慣など伺いながら不安、要望等を傾聴し安心して頂けるよう努めています。		

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	入居前にはご家族と面談を行って話を伺うようにしています。ご要望に対して柔軟に対応できるよう心掛けるとともに、出来ること出来ないことについても説明し、不安がないように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	利用者としっかり関わりを持ち、言葉や態度、表情などから不満や不安を読み取るよう努力しています。またご家族が何でも話していただけるような関係作り、雰囲気作りに努め、行事等に参加していただいた時には感想やご意見を伺うようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	日々の生活の中で、後片付け、掃除、洗濯干し・たたみ等、利用者様が出来る事は積極的に声掛けをし、職員と一緒にいき家庭的な雰囲気作りに努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	面会時には本人の日々の状況などをお伝えしながら、情報交換を密にして、一緒に本人を支えていく人間関係を築く努力をしています。面会に来られない方には電話でお伝えしています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないうよう、支援に努めている。	家族の協力を得て、外食・墓参り・毎週自宅に帰り泊まる等、一人ひとりの馴染みの人や場所との関係が途切れないうように支援をしています。		

自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>ご入居者様同士の関係を勘案し、食事の席やレクリエーションの席等を配置しています。利用者同士がトラブルになりそうな時は、職員が中に入ったりと臨機応変に対応しています。一人でおられる時は職員が積極的に話しかけています。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>契約終了後も、必要に応じて相談を受け少しでもお力になれるよう努力しています。</p>		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の嗜好に合わせ、ノンアルコールビールの提供など、できるだけ本人の希望や意向に沿った対応を行っています。こちらのペースでなく本人様のペースに合わせるよう努めています。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>家族・友人などの面会時、少しずつ昔のお話を聞き把握する様に努めています。日常の会話の中で回想する事により、個々の生活歴などの情報を把握できるよう努めています。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>利用者の変化や新しい気付きなどを記録に残し、毎日朝夕の申し送りの中で伝え合い、フローノートも活用して日々情報収集を行って職員全員が共有できるよう努めています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>利用者毎に担当者を決め、3ヶ月に一度モニタリングを行っています。 ケアカンファレンスは更新時・利用者の状況変化時に行い、その際には、管理者・介護支援専門員・家族・職員が話し合い、要望を取り入れてケアプランの見直しを行っています。</p>		
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>個人日誌、業務日誌、送りノートに記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしています。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>買い物や外食、お花見などの外出支援を行っています。 訪問理美容や利用者によって訪問マッサージを受けておられます。 ご本人の希望で新聞を取っている利用者もおられます。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>運営推進会議で、町内会長や民生委員の方や地域包括支援センターの方達から地域の行事などのお話しをお聞きし参加出来る時はしています。 また地域の中学校から、職場体験としての受け入れ等も行っていきます。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>入居時、協力医の説明を行うと同時に本人様のなじみのかかりつけ医を設定されることも自由なことも説明しています。 協力医の訪問診療は月2回、必要時や緊急時は常に連絡が取れる体制が出来ています。又、定期的な訪問歯科の往診以外に希望される方はかかりつけの歯科に受診されています。</p>		

自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職員との協働</b> 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	施設内の看護師と連携を密にし状態の変化などを報告し医療に繋がっています。また、訪問看護ステーションと契約をし、定期的に数名の看護師に来て頂き迅速な対応をしています。夜間帯や休日なども、24時間連絡体制がとれるようになっていきます。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医と入院機関との連携にも努め、すぐに情報提供を行うよう努めております。定期的に管理者・看護師・介護支援専門員が面会に行き、看護師・相談員に状態をお聞きし早期の退院ができるような対応をしています。		
33	12	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	ご利用される時点で、重度化への指針や緊急時の体制などについて、入念にお話させていただいています。ご利用後、状態が悪くなっていく場合は、かかりつけ医師・看護師・管理者と共に、ご家族と今後の重篤時の対処などについて話し合いを行い、承諾書等も頂いています。		
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	急変時などは、マニュアルに沿って連絡網で、即時に情報が流れるよう体制をとっています。毎月の職員会議では、これまで発生した事故・ヒヤリをもとに振り返り、改善などについて意見交換をしています。		
35	13	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	消防署の協力を得て年2回、火災避難訓練・消火訓練を実施しています。		

自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保  一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	個人にあった対応をするため、ミーティングにて、職員間で情報を共有し、誇りやプライバシーを損ねないよう意識の向上に努めています。入浴、排泄等、羞恥心に配慮をして行い、記録物などの取り扱いにも注意しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援  日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の要望や思いなどに素直に耳を傾け、また、自己決定できるような問いかけをしています。その中で出来る事は対応し、出来ない事については丁寧に説明しています。場合によっては、管理者を交えて話し合い、納得を得られるよう心がけています。		
38		○日々のその人らしい暮らし  職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	ご利用者のその日の体調等を考慮し、その方の思いや要望をお聞きして、最適な過ごし方が出来るように心がけています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援  その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	毎朝、ご本人の好みの洋服に着替えていただきます。化粧品もご本人、ご家族の希望があれば使っていただいています。定期的に理美容サービスに来ていただき、ご本人の希望に合わせてカット・カラー・パーマをお願いしています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	普段の食事作りへの参加はありませんが、時々、ホットプレートを使用の際は一緒に作っていただいて、食器等の後片付けは無理の無い程度に一緒に手伝って頂いています。温かい物は温かい内に、常に美味しく召し上がっていただけるよう提供しています。		

自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>1日の水分摂取量は、1000～1300ccを目標としています。水分量、食事量を記録し一人一人の咀嚼、嚥下状態に合わせた食事形態にて対応させて頂いています。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>口腔ケアは毎食後行い、義歯使用者は週2回夕食後に洗浄剤にて消毒をしています。また月2回歯科往診の先生に来て頂き、治療についての相談や口腔内のケアをしていただいています。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄表にて、一人ひとりの排泄パターンを把握し、声かけにてトイレに誘導をしています。また動作・表情などを察知して、トイレ誘導をし、気持ちよく排泄していただくよう取り組んでいます。</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>毎日朝にカフェオレやヨーグルトを摂取してもらい、適度な運動や散歩でなるべく自然排便ができるよう取り組んでいます。</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>利用者様の身体状況に応じ個浴、リフト浴を使用しています。又、必要に応じて清拭、シャワー浴等、工夫しながら清潔保持に努めています。入浴を楽しんでいただくため、入浴剤を使用しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目( ひまわり )	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している。</p>	<p>体調や習慣に合わせてご本人の ペースで昼寝の時間をとり、休 息して頂いています。夜間の安 眠につながるよう日中は、レ ク、適度な運動や散歩などを 心掛けています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る。</p>	<p>薬局と連携を取りながら、薬の 飲み合わせや副作用について説 明を受け支援を行っています。 誤薬防止のためWチェック、 内服時に名前、何日、何食の 声出し確認も行っています。薬 変更後は状態が改善されたか 副作用が無いかなどを確認し報 告しています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生 活歴や力を活かした役割、嗜好 品、楽しみごと、気分転換等の 支援をしている。</p>	<p>個々で役割をもって頂き、ご 利用者様同士一緒に助け合いな がら過ごせるようにしています。 お酒も相談にのって対応して おり、個別の楽しみが継続でき るようにしています。花や野菜 を育てるので好きな方は玄関 や中庭で植えられます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所でも 、本人の希望を把握し、家族 や地域の人々と協力しながら 出かけられるように支援してい る。</p>	<p>日常的な散歩に加え、花見や 紅葉狩りに出かけたりドライブ しながら昼食やデザートを食べ に行くなど、普段行けないよう なところへも希望に沿いなが ら出来る限りの外出支援を行 っています。</p>		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つこと の大切さを理解しており、一人 ひとりの希望や力に応じて、 お金を所持したり使えるよう に支援している。</p>	<p>本人様が金銭を保管することは トラブルにつながるのでは、ご 家族様にその旨をお伝えし持 って帰っていただいています。</p>		



自己評価	外部評価	項目(ひまわり)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の( )内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご自分より手紙を出されたりされることはないが、届いた手紙はご本人に手渡しています。電話がかかって来た時はご本人に代わりお話しして頂いています。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>中庭に季節の木や花を植えている。居室や共用部分は常に清潔にし、温度湿度管理を行い気持ちよく過ごして頂けるよう配慮しています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>廊下にソファを置き中庭の花や木を眺めながら自由に座って頂ける様になっています。天気の良い時は中庭のベンチで日向ぼっこをされ、くつろいでおられます。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時、好みの物や自宅で使用されていた馴染みの物を持って来て頂くようにし、居室が落ち着く場所になるよう配慮しています。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>自立した生活が送れるよう、廊下やトイレに手すりが設置しており、安全面に配慮しています。居室やトイレが分かるように、ネームプレートを使用しています。</p>		

V アウトカム項目(ひまわり) ← 左記( )内へユニット名を記入願います

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームひだまり

作成日 R4年1月17日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	13	職員の定着年数、資格保有者が少ない、知識、技術や職場環境の向上を図る。	職員の定着、スキルアップ。	職場内外の研修を充実、資格取得の補助、給与体系の改善など職場環境や条件の整備に努める。	12ヶ月以内
2	4	運営推進会議に家族様の参加が少なく、家族アンケートに分からない回答が有る。意見を交換できる機会を作る。	家族様の会議参加を増やし支援内容など不明な所を確認できるようにする。	家族様に日頃から体調やご様子などの連絡を増やし、運営推進会議の事前アンケートを作成し意見や要望、不明点などを伺い回答する。	12ヶ月以内
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。